

重粒子線治療

— がん治療の新たな選択肢 —

膵臓がん



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
FACULTY OF MEDICINE - YAMAGATA UNIVERSITY
山形大学医学部附属病院

『重粒子線治療』を

お勧めする 3 つの理由

1 効き目が強い

他の放射線に比べ破壊力が強く、今まで効きにくいとされてきた骨肉腫などにも効果を発揮します。

2 正常臓器への負担軽減

がんに集中的に照射が可能で、周りの正常臓器にはダメージが少ない治療です。

3 短期間で治療できる

他の放射線と比べ、重粒子線は照射回数が少なく、概ね半分以下の短い期間で治療できます。

重粒子線とエックス線の照射範囲の違い



重粒子線のほうがエックス線より少ないビームでがん集中させることができ、正常組織に当たる範囲や量を抑えることができます。

※すべての照射が完了した際の照射影響範囲
イラストは前立線がんの場合のイメージです。

膵臓がんについて

重粒子線治療の対象となる場合

手術による根治的な治療が困難な膵臓がんと診断された場合

重粒子線治療の対象とならない場合

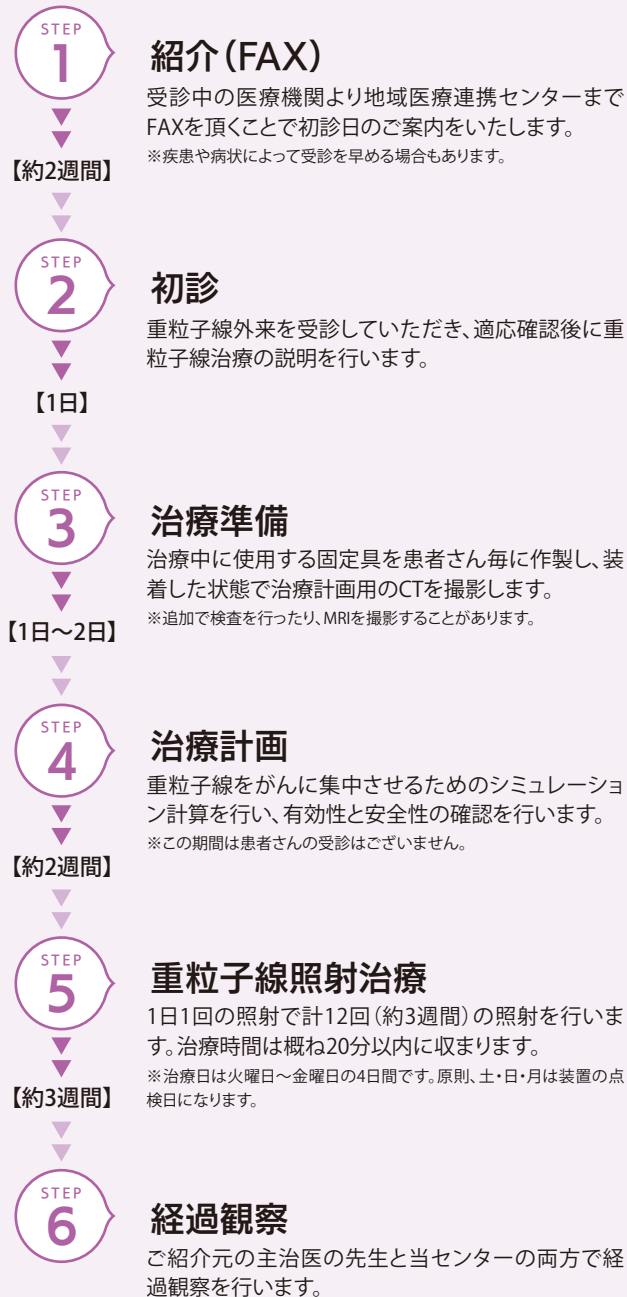
- 遠隔転移や腹膜播種がある場合
- 消化管を避けて照射することが不可能である場合
- 胆管や消化管に金属ステントが留置されている場合
- 上腹部に腹水がある場合
- その他医師が治療困難と判断した場合

山形大学医学部
東日本重粒子センターは、
世界初の
総合病院接続型の治療施設です。
持病のある方もケアを
受けながら治療を受ける
ことができます。



プライバシーに配慮し、
個室の待合室を
ご用意しております。
通いながら治療できる環境を
ご用意し、患者さんの
負担軽減に努めます。

治療の流れ



治療をご希望の方へ

まずは主治医の先生に
ご相談ください

治療に際して

通常は重粒子線治療に合わせて化学療法も同時に行います。治療中に食欲不振や骨髄機能の低下が出現することがあります。

治療後数ヶ月以降に発生する副作用として、消化管の潰瘍や出血が起こる場合があります。

公的医療保険適用の治療です

膵臓がんに対する重粒子線治療費は公的医療保険が適用され、自己負担額はその1～3割となります。高額療養費制度※を適用できることから、実際のご負担額は収入と年齢によって決まる月ごとの自己負担上限額となります。

※最新の情報は厚生労働省のホームページをご覧ください。

コンバージョン手術

手術が困難・不能な膵臓がんと診断された場合でも、重粒子線治療後の経過によっては、手術(コンバージョン手術)を検討できる場合があります。当院では、総合病院接続型施設の強みを生かし、放射線治療科・消化器外科・消化器内科・腫瘍内科が連携して治療方針を検討しています。

下記の全ての条件を満たす場合には、手術の可能性を検討できる場合があります。

- 抗がん剤治療を4～6ヶ月以上受けている
- 重粒子線治療を受けて2ヶ月後以降でも病状が安定している
- 血液検査で腫瘍マーカー値が正常値もしくはそれに近い値まで下がっている
- 全身麻酔で膵臓を摘出する手術に耐えられる体力がある
- その他医師が手術に支障がある病状がない

手術の希望がある、あるいは手術の内容や可能性について聞いてみたい場合には、重粒子センターの放射線治療科医師にご相談の上、当院第一外科を受診して下さい。なお、条件を満たした場合でも、がんの病状等によりまず、必ず手術ができる訳ではありません。

アクセス

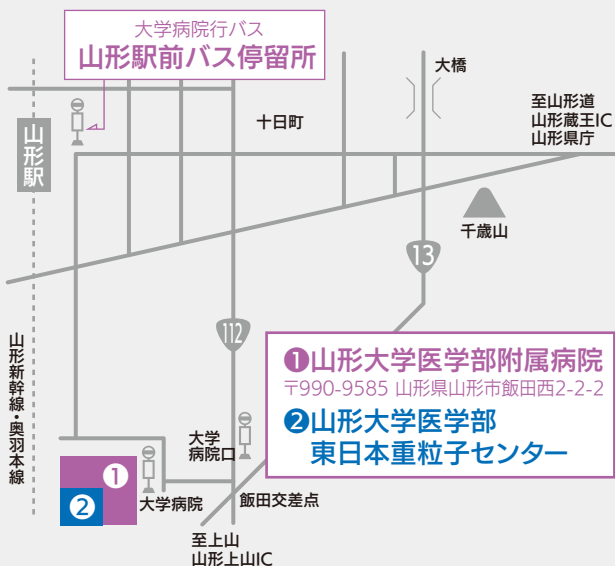
● タクシー

JR山形駅から約10分

● バス

仙台駅前から上山行き高速バス(山交バス・宮城交通)23番乗り場乗車、大学病院口下車(約75分)

山形駅前から大学病院・東海大山形高行きバス(山交バス)乗車、大学病院下車(約15分)



お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務室

TEL **023-628-5404**

受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

東日本重粒子センター

検索



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
〒990-9585 山形県山形市飯田西2-2-2
山形大学医学部附属病院



GREEN PRINTING JFPI
P-B10196
この印刷製品は、環境に配慮した
原料と工場で製造されています。

